

授業科目

教育技法

【担当教員名】 生田孝至	対象学年	1, 2	対象学科	理学・作業・言語・健康・社会
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

<概要>

授業技法について、教えることの意味と役割を基本に、その基礎的機能について講義する。教えることを、学校の教師に限定せず、広く人間の関わりの中での作用と考え、人に教えることに従事する者の視点から、教える技法を検討する。この授業では、インターネットや、メールなどを活用するので、情報技術の基本を身につけておくこと。

この授業は、土曜に2時間連続で行う予定である。

<学習目標>

- ・教える要素を整理する
- ・教えることの技術を知る
- ・技術の意味を理解する

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	オリエンテーションと班分け		講義
2	教えることに係わる要素を検討する		班学習
3	テキストを読んで、教育実践と技術を検討する		班学習
4	課題1：授業の要素、をグループでまとめ、発表の準備をする。		班学習
5	ネットワーク上で課題を展開し、相互法科を行い、グループ検討をすすめる		個別学習
6	課題2：伝えるための情報構成、を検討する。		班学習
7	課題2を、班ごとにまとめ、プレゼンテーションツールで準備する		班学習
8	課題の発表を行い、自己評価・相互評価を、ネット上で実施する。		班学習
9	技術を、意思決定過程から検討する。		講義
10	技術の持つ意味を、人間のコミュニケーションから検討する		講義
11	医療と福祉における、コミュニケーション技術を検討する		講義
12	コミュニケーションとしての技術を、情報化社会を視野に検討する		講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	教育実践を記述する－教えること・学ぶことの技法－、野嶋栄一郎編著、金子書房、2002、¥2,600 (当日記者に販売する予定です)			
参考書				
その他の資料				

【評価方法】 出席とレポート、班活動で評価	【履修上の留意点】 インターネット、メールができること
--------------------------	--------------------------------